

代表質問

質問 豪雪期における震災対応について、どのような対応を想定しているのか伺う。

答弁 冬季の特性として、寒い、凍結、日中の時間が短いなど、また、移動が制限されるという状況が想定される。こうした状況の中、家屋の倒壊、倒木などによる停電、雪崩などによる孤立地域の発生等が危惧され、避難所の開設も想定されることから、発電機及び投光器をそれぞれ24台、防寒用品として対流型の石油ストーブを20台、毛布1703枚を備蓄している。今後も、冬季における災害応急対策などが迅速かつ的確に展開できるように、防災体制の強化と、地域住民の防災意識の高揚を図るための冬季防災訓練の実施を検討していく。

質問 湯沢駅周辺複合施設整備事業について伺う。

答弁 本事業は、消防庁舎跡地および湯沢市土地開発基金が保有する先行取得土地といった公有地を事業対象地として、市の中心部に点在する公共施設の諸機能の集積を図るとともに、余

剰地への民間収益施設の誘致を基本としている。令和4年9月には民間事業者との契約を締結し、基本設計に着手する予定で



質問 DXは現時点でどのような分野から進められるか。

答弁 次年度当初からは全ての分野を視野に入れた各種申請や届出などの行政手続について、庁舎に足を運ぶことなく24時間手続可能な電子手続の拡充について、可能な分野から順次進めていく。また、スマートフォンでの利用率が高いLINEを介した電子申請システムを市独自に導入し、利便性の向上を目指していく。

質問 デジタル変革アドバイザーの役割について伺う。

答弁 国の政策要綱や民間での取組に関する知見、市の全体方

あり、集客力のある複合施設の整備を契機に、湯沢駅周辺への新規出店や新たな事業展開など、民間事業者の自主的な取り

質問者 豪 議員
おの やま 大山

- ・デジタル変革推進事業について
- ・企業誘致対策事業について
- ・ICTを活用した授業改善支援事業について

組みがにぎわい創出や活性化につながることを期待している。

針、立案や計画策定、具体的施策に関する助言、施策の優先順位付け、庁外のDXの推進に関して、範囲を限定せずアドバイザーにいただくこととしている。

質問 企業（誘致）への具体的なアプローチとして、どのような課題があるか。

答弁 地方への進出を模索する企業の情報をいかにキャッチしていくか、生産年齢人口が減少していく中で労働力をいかに確保していくかが、誘致を成功させる上での大きな課題と捉えている。

質問 ICT機器の持ち帰りなどの成果について伺う。

答弁 持ち帰りにより情報活用能力に大きな向上が見られたと認識している。家庭での児童のICT活用の様子から、保護者の皆さまは児童の学習状況を把握し、児童の成長を認めるなど、児童と保護者の双方に大きな成果があったと感じている。

質問 個別最適な学びへのICT活用の成果について伺う。

答弁 ICTの活用により、教師は児童の実態に合わせた支援ができ、児童は自分に合った学び方を選択でき、授業のねらいの達成につながったと感じている。今後効果的な活用に向けて研修などを通じて検証していく。

湯沢市議会
YouTube
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。

